

今号の主な記事

- ◇「e都市ランキング」で本市が2年連続全国トップに.....3面
- ◇保育所の運営法人等を募集.....2面
- ◇敬老月間に様々な催し.....4面
- ◇保健だより.....8面



川から海へ、きれいな水をいつまでも大切に

9月10日は下水道の日

アユや水鳥が戻ってきた西宮の川
次は川から海へ、大阪湾の水質向上を

高度成長期(昭和40年〜50年ごろ)の西宮の川は、洗剤の泡でまっ白でした。どぶのにおいが強烈で、魚も水鳥も姿を消しました。最近では、市内を流れる夙川、津門川など大半の川で、アユをはじめ多くの魚が住み、鴨など水鳥の親子が遊ぶ姿も珍しいことではなくなりました。下水道網が市内のほぼ全域で整備されたうえに、市民の皆さんの協力で、自宅の台所やトイレなどの汚れた水(汚水)を、下水管に直接つなぐ工事が順調に進んだ結果です。今では、汚水のほとんどは、下水管を通じて浄化センターに集められ、微生物の力できれいに処理してから、川や海(大阪湾)に流されるようになりました。

しかし、甲子園浜や香櫨園浜など、大阪湾の水質はまだまだきれいにならなかったと言えま

せん。赤潮発生などに見られる、陸地に近い大阪湾の水質悪化が慢性化し、魚や貝に悪影響をおよぼしています。大阪湾の水質浄化のためには、赤潮の原因であり、これまでの処理方式では取り除けなかったチソンやリンを除去することができる「高度処理」の導入が必要で

す。国は、昨年6月、下水道法を一部改正し、高度処理方式の策定を義務づけました。市は今年から甲子園浜浄化センターで、高度処理施設の建設に着手する予定です。

9月10日は「下水道の日」です。下水道の大切な役割について皆さんと一緒に考えましょう。問合せは経営管理課(0798・35・3649)へ。

下水道はきれいな水環境を守ります

皆さんが台所やトイレで使ったあとの汚れた水は、下水管を通じて浄化センターできれいにされ、川や海に流されます。

私たちの飲み水の多くは、淀川や武庫川から取水し、飲み水にふさわしい水準まで浄化され配水されます。この淀川や武庫川にも浄化センターできれいにされた下水の処理水が流れ込んでいます。

汚水の下水管直結にご協力ください

川や海の水環境を守らなければ、人間や動物の生存そのものが脅かされることになりかねません。下水に油を流さないとか、洗剤ではなく石けんを使うなど、できることから水環境の保全に取り組みしましょう。

くみ取りやし尿だけを処理する浄化そう(単独浄化そう)は、台所や風呂の水を直接川に流すため、においや環境悪化の原因になります。

浸水から暮らしを守る下水道

下水道のもう一つの大切な役割は、大雨による浸水から皆さんの暮らしを守ることです。

市内の地下には合計143本の下水道管が走っていますが、汚水管674本(注)だけでなく、汚水と雨水を一緒に流す合流管が305本、雨水管が164本も張り巡らされ、降った雨水をすみやかに排水します。33力所のポンプ場(雨水)も、いざというときには大活躍して浸水を防ぎます。

また近年、突然の豪雨

ます。下水道が使える地域で、まだくみ取りや単独浄化そうを使っている家庭は、一日も早く下水管に直接つなぐようお願いします。

◆下水道に直接つなぐための相談会 8月25日(9月10日(土・日曜を除く))の午前9時〜午後5時半に経営管理課で。相談無料。問合せは経営管理課(0798・35・3649)へ。

下水道予算は年間168億円も

一度汚した水をきれいにするために、大変なエネルギーと費用が必要です。平成18年度の下水道予算は総額約168億円。市民1人あたり約3万6000円もかかっています。このうち、皆さんが払う使用料でまかなわれているのは36%の60億円で、残りのほとんどは税金が投入されています。

悪質な「点検商法」にご注意を!

トイレのつまりの修理や汚水桝(ます)の清掃などと言って、高額な料金を請求する悪質な「点検商法」による被害が続いています。また、清掃をきっかけに、屋根や床下なども修理が必要と、次々に高額な契約を強引に結ばされる「次々商法」も報告されています。トイレのつまりはほとんどの場合、自分で簡単に直せます。清掃しなければならぬほど汚れている汚水桝もめったにありませんし、簡単に清掃できます。さらに汚水桝の修理などは、市の指定業者でなければできないことが条例で定められています。あやしいと思ったら経営管理課(0798・35・3649)または警察にご連絡ください。

日本下水道協会の下水道クイズ

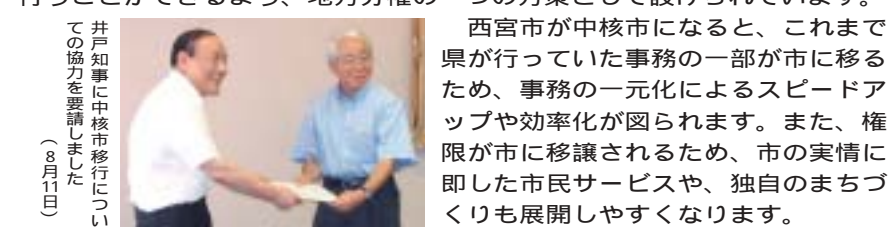
下の の中にあてはまる文字(漢字)を入れてください。

「9月10日はの日」

応募方法 ハガキにクイズの答え、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を書き、9月20日(消印有効)までに下水道クイズ係(〒119-0275東京都麹町郵便局留)へ。複数応募可。賞品 50人に図書カード5000円分が当たります。賞品の発送(10月中旬ごろ)をもって発表にかえます。問合せ先 日本下水道協会(03・5200・0812)

市民に身近なまちづくりをめざして 平成20年4月「中核市」移行実現へ

市は、平成20年4月に、中核市への移行をめざしています。中核市制度は、政令指定都市以外の都市の中で、規模能力が比較的大きな都市について、その事務権限を強化し、できる限り住民の身近で行政を行うことができるよう、地方分権の一つの方策として設けられています。



ご意見・ご質問などがあれば、お寄せください

市は、中核市に関する情報を、市のホームページ(アドレスはページ下参照)に掲載しています。また、中核市移行について、皆さんからの質問や意見、提案なども受け付けています(いただいたご質問などは同ホームページで紹介する場合あり。ただし、氏名など個人情報を除く)。今後も国・県と協議を行うなどして準備を進めていきます。問合せは中核市担当グループ(0798・35・3540)へ。

9月30日~10月10日 平成18年

2006 のびぎく兵庫国体 "ありがとう"心から・ひょうごから

西宮市の開催種目

- セーリング
- 新体操
- ボクシング
- スポーツ芸術
- 日本拳法
- ティーボール

正式種目 公開競技 デモスボ行事

推計人口: 47万294人 (女24万7045人、男22万3249人)

世帯数: 19万6173

面積: 100.18 km²

平成18年(2006年)8月1日現在